

モーツァルト・サロン会報 NO.90

第90回 モーツァルト・サロン コンサートシリーズ

「佐藤卓史ピアノリサイタル」特集

2024年12月22日号



シューベルト:即興曲 Op.142

ご挨拶

今年も残り僅かですが、皆様お元気で過ごしのことと存じます。モーツァルト・サロンでは22日(日)14:00より「佐藤卓史ピアノリサイタル」が開かれました。佐藤さんの楽しく、興味深いトークをご覧ください。

第1曲目は「モーツァルト:ロンド ニ長調 K.485」。美しく典雅な音色が会場を満たしました。そしてご挨拶です。『皆様今日は。佐藤卓史でございます。年末のお忙しい時にお集まり頂きまして、ありがとうございます。初めに、このサロンに因んでモーツァルトの「ニ長調のロンド」を演奏しました。小学3,4年頃、1年以上先生に怒られながら弾いていた思い出深い曲です。お陰でちゃんと暗譜しているわけですが、この曲のCDのカップリングでよく入っているのが次の「イ短調 K.511のロンド」で、暗く長い曲なんです。こんなに一人の人間において明るい時と暗い時があるのかという位、モーツァルトの違った側面が見られます。子供の頃から「いい曲だなあ」と思っていたんですけど、この年になってからやると、暗譜が覚えられないと…。頑張っただけでやっみたいと思います』。そして、佐藤さんは「イ短調のロンド」を暗譜で弾き、続いて「シャミナード:森の精」が演奏されました。

『セシル・シャミナードの曲は、私が昔から紹介に努めてきましたが、今年この曲が有名なピアノコンクールの課題曲として選ばれ、私のお陰かどうかはわかりませんが勝手に嬉しく思っております。子供の頃は楽譜が絶版で、手に入らなかったんですけど、ある時からネットでダウンロード出来て、CDを作ったり、色んな活動をしてきました。この後の2曲は初めて演奏するんですけども、〈パ・ドゥ・アンフォル〉というバレエ「カリロエ」のナンバーを自身がピアノ用に編曲したもので、もう1曲は〈スペインのセレナーデ〉。元々は歌曲らしいのですが、そちらも自身のピアノ用編曲で、この曲はクライスラーがヴァイオリン用に編曲しているでシャミナードの作品の中ではよく知られた曲かも知れませんが、ソロで弾いてみたらクライスラー版と全然違うところが現れて「これどうやって弾くんだろう」と焦りましたけども、2曲を続けて演奏致します。そして、以上の2曲が初めて演奏されました。

『前半の最後は私の作品を弾きますが、恩師から後押しを頂いたと人のせいにして誤魔化そうとしております。元々は2台ピアノの曲があまりないので、基礎の部分の編曲したり、ヴァリエーションを書いたりして、「ラクリメ変奏曲」というCDをレコーディングして、小林仁先生とアリエ・ヴァルディ先生に出来上がったものを送りました。私が学生の頃はピアノの人はピアノ、作曲の人は作曲をやるべきと、垣根を超えた活動は邪道であるということをする先生方も多かったのですが、幸い二人の先生はとっても柔軟で、恐る恐るCDを送ったら「もっと作曲した方がいいよ」と言われました。それまでピアノソロの曲は書いてこなかった。最初に演奏しますのは《舟歌》で、音楽高校の3年生の時に同級生に誕生日のプレゼントとして贈ったものでして...女の子。大体こういうことをやると「素敵」ってことになるか、「キモイ」ってことになるかどっちかですが、楽譜を渡すと「このところ進行があんまりうまくいってない」、「この辺で雰囲気が変わらないからちょっとダメ〜」と批評をされて。被献呈者に「今日弾くよ」と許可を頂いたので弾くんですが、「弾いてもよろしい。但し、上手に弾きなさい」と。贈った相手というのは私の奥さんであります。ちょっと可愛い曲なんですけどもお聴き頂けたらと思います。そして、「懐かしい日本の歌」のような、ラブレター代わりの歌詞が付いているのでは?と想像できるような曲を微笑ましく聴かせて頂きました。

『ありがとうございます。続きまして《白夜夜船》という曲ですが、吉本ばななの小説「白夜夜船」の印象を曲にしてみたんですけども、当時どうやって終わったらいいのかと放置されていた楽譜を引っ張り出して補作してみたものです。2005年、大学4年生の時の作品です。その後演奏された曲はとても美しく、お客様からも大好評でした。次はウクライナ民謡による変奏曲の説明です。

『大学生の頃は、フォーレやラヴェルとかフランスの音楽が好きで、この曲もフランス風というか、旋法と違って音階とは少し違う音の組織を使っている部分があって、クラシックの音楽と若干違う音の使い方に聴こえるわけです。さて3曲目、さっき書き終わったと言いますか、まだ書き終わってないと言いますか…。この曲は変奏曲で、主題はウクライナの曲で、「もし私が刺繍が上手に出来たら」という意味のようで、古くからあった民謡ではなく、ある作曲家が20世紀の後半に書いて流行らせた創作民謡です。2017年ウクライナ人のバンドゥーラ奏者のカテリーナさんが「BS おんがく交差点」にゲストとしていらっやっやっ、ソロで弾いているのを聴いて「素敵なお曲だなあ。この曲を変奏曲の主題に出来たらなあ」と思っているうちに、ウクライナでの戦争が起きてしまいました。カテリーナさんのCDを買って採譜して、その主題の後に7つの変奏が続くという中々の大曲でございます。書いた方がいいもの、弾けるのかということですが、温かい心で聴いていただけたらと思います。自作の難曲で前半の幕が閉じられました。

後半は恐縮ながら、私のリクエストにお応え頂き、「4つの即興曲 Op.142」。天からシューベルトを通して贈られたような晩年の名曲を、その通りのイメージで演奏されました。特に細かい音符は天から降り注いで来るようでした。会場は感動に包まれました。

『ありがとうございます。4曲続けて弾くと結構ね…。やはりシューベルトの晩年ならではの世界があるなあと思いました。実はこのモーツァルト・サロンコンサートシリーズはまもなく閉じられるということで、私がここで演奏するのは今日が最後となってしまいました。留学中から応援して下さい心よりお礼申し上げます。最後に相応しいアンコールをと思ひまして、ショパンの《別れのワルツ》を演奏したいと思います。一説には恋人だったコンスタンツェと別れることになって、その時に作曲したと言われている曲でございます。実に繊細に弾き終わり、鳴り止まぬ拍手に再登場した佐藤卓史は何と!サンタさんになって「リスト:ラ・カンパネラ」をプレゼントして下さいました。楽しくて華麗な演奏に会場は大盛り上がりでした。

目覚ましい活躍を続ける佐藤さんですが、ささやかな当サロンからのオファーを必ず受けて下さいました。これまでの数々の熱演に大きな拍手と感謝の気持ちを贈りたいと思います。皆様今後共、佐藤卓史さんのご支援をどうぞよろしくお願い致します。

アンケート集計結果 ご協力ありがとうございました。

佐藤卓史さんへ激励のメッセージをお願いします。

- ♪モーツァルト・サロンに何うのも初めてでしたが、温かみのある親密な空間であんなに間近に演奏を聴くことができ、大変贅沢な時間を過ごさせていただきました。YouTubeで、偶然佐藤さんの全音ピアノピースの演奏に出会い、遡って全ての演奏をお聴きしました。いつか、リサイタルにも伺いたいと思っておりましたので、伺えてよかったです。「舟歌」は、優しいイントロに胸がしめつけられ、奥様へのお気持ちが凝縮されているように感じ、ため息が出ました。歌詞が乗っていきそうな素敵メロディーが続き、1曲目から度肝を抜かれました。「白川夜船」は読んだことのない小説でした。音楽はミステリアスで、漠然とした不安が感じられ、この船はどこへ向かっていくのだろう、と思っていると突然激しい嵐に見舞われたような展開が続き、その後、もとの静けさがもどってきたようでした。「ウクライナの歌：“もしも刺繍ができたなら、による変奏曲”も充実した大曲で、変奏ごとに表情が変わり、最後、「あ、たしかに“ひまわり！、”。本当に佐藤さんの多才ぶりにただただ感嘆いたしました。これらの曲の楽譜を出版する予定などありませんでしょうか。もし出版されたら、是非購入したいです。佐藤さん、スタッフの皆様、本日は素晴らしいリサイタルをありがとうございました。
- ♪先生の10年以上のファンです。中々家族がいて伺えませんが、もう少しでおちつくので、全部行きたいです。どうしてそんなに美しいのでしょうか。先生の人柄が人気ですね。いつもSNSでも応援しています。ウクライナの曲、素晴らしかったです。先生のシューベルト本当に大好きです。近くでできて、さらに勉強になります。先生のD960がききたいです。
- ♪ネットでは、すてきな演奏をみせて頂き、先日、ミュザで「トリオ」で初めて生演奏ききました。一度は、ソロのリサイタルで生演奏をきかせて頂きたく、初めて伺いました。期待通りすばらしい演奏でした。シャミナード初めて聴かせて頂いたし、ご自身の作品も力作ですてきでした(18歳から仲良しのご夫婦なんですネ！ステキ！)。シューベルトは、もちろんさすがの演奏で、やっぱりここに聴きにきてよかったですと思いました。すばらしいピアノ、もっとリサイタルの機会があればよいのに...と思いました。★サンタさんの「ラ・カンパネラ」ステキでした。ありがとうございました♡
- ♪私は趣味で絵を描いているのですが、今度演奏姿を描かせていただきたいと思います。9月(上野・東京文化会館)でも演奏を聴かせていただきましたが、今回も素晴らしい演奏でした。素人には理解の追いつかない指さばきでした。美しい演奏を拝聴すると絵を描きたくなります。次回うかがうときは作品を持参いたします。
- ♪初めて聴かせていただきました。ビデオのすぐ横の一番特等席でできましたので、弾いているときの表情が豊かで、情熱が伝わってきました。ピアノ(弱音)が、まるでハーブみたいな音で澄んでいて、とても足下には及びませんが私も練習がんばります。素敵なひとときをありがとうございました。また来ます。アンコール、すばらしかったです！ブラボー！！
- ♪今夏、藤沢の川添先生の教室での佐藤先生のレッスンで孫(小1)がお世話になりました。ありがとうございました。朝の散歩の途中、当ビルの掲示ポスターで佐藤先生のお名前をお見かけし、この演奏会をお聴きする機会を得ました。すばらしい演奏に感動致しました。またぜひに聴かせていただこうと思います。今日はありがとうございました。
- ♪1音1音を大事に演奏される方だと感じました。音が速い所も、流して弾くわけではなく、1つ1つでいねいに音を奏でていると思います。奥様に贈られた曲は、とても素晴らしく、優しい曲だと思いました。すばらしかったです。ありがとうございました。
- ♪クラシックとオリジナル曲のプログラム構成がよかったです。「舟歌」のエピソードに、いつき先生のお顔がうかび、心があたたかくなりました！ウクライナの変奏曲もすばらしかったです。シューベルトも多彩な音色と表現に魅せられました。サンタさんのリストも最高で、とてもたのませていただきました。もっと別のオリジナル曲もきいてみたくくなりました。



モーツァルト：ロンド 二長調 K.485
小学3、4年の時に勉強しました。



丁寧なごあいさつとモーツァルトの
2曲のロンドの説明をユーモラスに。



モーツァルト：ロンド イ短調 K.511
子供の時から「いい曲だな」と思っていました。



シャミナード：森の精
大分昔から普及に努めてきました。



佐藤卓史：舟歌
楽しいラブストーリーがありました。



佐藤卓史：白川夜船
この大作はお客様に大好評でした。

- ♪舟歌がとってもよかったです！お話も楽しかったです。
- ♪奥様に連弾のご指導でいつもお世話になっております。すばらしいリサイタルでした！特にオリジナル曲がピアノスティックでしみ入りました。ぜひCDを出していただきたいです！シューベルトもさすがでした。サンタ姿でのアンコールも最後にきけてお得な気分です。
- ♪今日はありがとうございました。すてきな演奏と楽しいお話でとてもいい時間を過ごすことができました。佐藤さんのお話は楽しいだけではなく、作曲家や曲への解像度が上がる内容で、また周辺の事からへの私たちの興味をよりかきたてる内容なので、「家に帰ってからのやりたい事」が増えてうれしいですね。いつもYouTubeで「調子の良いかじや」ばかり聴いておりますが、全音ピアノピースの1番目のものから全て聴いて、興味の範囲を広げたいと思います、今後も活動がんばって下さい！！
- ♪作曲までなさるとは知りませんでした。それぞれ心安らぐ素敵な曲でした。ずっと佐藤さんのファンで、CDもいくつも持っています。何度も繰り返し聴きながら、おだやかな気持ちにさせられて頂いています。益々の御活躍を祈念しています。シューベルト即興曲は本当に素晴らしかった！！
- ♪年の瀬に、うつくしい音色を聴けて幸せな時間をすごすことができました。感謝。これからは、他のコンサート会場で演奏を聴けることを楽しみにして居ります。佐藤様も健康にご留意してご活躍下さいませ。
- ♪ありがとうございます。あらえびすの会のウラカタでした。長岡さんとリサイタルを、度々聴かせて頂いています。毎回、すばらしい“Music”。本当に、うれしい、時間です。何よりも、お身体を大切に！！ Good Luck!
- ♪久しぶりに生のピアノ演奏を聴く事ができ、すばらしい音楽に酔ったと言うべきでしょうか。頭の中で音楽がダンスの様に廻っていて、今夜は夢の中で音楽をまた楽しめそうです。今後のご活躍を楽しみにしています。機会があれば、又、生の音楽に触れたいと思いました。ありがとうございました。
- ♪“コンサートホール”ではない場所でクラシックを聴かせていただくのは初めてでした。家族から誘われて伺いましたが、素敵な時間になりました。
- ♪どの曲も素晴らしかったです。特にシューベルトが好きでした。このサロンの近さで聴くことができたのも幸せな時間でした。ご自身の曲もぜひひろうして下さい。
- ♪本当に楽しい時間でした。最高のクリスマスプレゼントをプチフライングでしっかりと受け取りました！ご自作曲をまた聴かせて頂きたくこれからも楽しみにしています。
- ♪数年前よりリサイタルのファンです。こんなに間近で聴く事のできる機会は他にないと思いますと、モーツァルト・サロンでのリサイタルが最後なのは、本当に残念です。これからも陰ながら応援させていただきます。SNS、YouTubeも大変楽しませて頂きました。羽川さんとの共演を知り、秋田市出身の羽川さんと幼稚園が同じだった者としては、明日も馳せ参じたいです。
- ♪素晴らしい音空間に身を置いて、素敵な曲の数々による佐藤さんのピアノを聴き、感動で「お腹一杯、胸一杯」のひとときでした！特に前々から聴きたいと思っていたシューベルトの即興曲Op.142の全曲にはシビれました。佐藤さんは、シューベルトツィクルスに挑戦されて既に10年経ち、あと5年とのことです。是非完結に向けてご研究、ご精進をお続け下さい。作曲面でも、後世に残るような名曲を生み出されますよう、心からお祈り申し上げます。

「第22回 佐藤卓史シューベルトツィクルス」

2025年5月12日（月） 東京オペラシティリサイタルホール（初台） 入場料：4,500円

佐藤さんはシューベルトの器楽曲を全曲演奏するという大プロジェクト「シューベルト ツィクルス」を2014年から年に2回のペースで開催されていて、あと5年余りで完結しますが、今回は下の通りです。



シューベルト：4つの即興曲 第1曲目
後半は赤のネクタイで。



シューベルト：4つの即興曲の弾き終わり
圧巻でした。



ありがとうございました。
これからのコンサートのお知らせ
明日です！



最後に相応しいアンコール曲
ショパン：別れのワルツ



2曲目のアンコールは
「リスト・ラ・カンパネラ」
サンタさんからの熱いプレゼント！



長い間、ご出演ありがとうございました。
これからのご活躍を心よりお祈りしております。

♪:~:~:~:♪♪:~:~:~:♪ モーツァルト・サロン 今後のコンサート ♪:~:~:~:♪♪:~:~:~:♪

第 91 回 モーツァルト・サロンコンサートシリーズ

東京混声合唱団のメンバーによる **ファイナルコンサート** チケット発売中!

~14年5カ月の感謝の気持ちを込めて贈る豪華なひととき~

2025年2月23日(日)14:00より 入場料:3,000円

Soprano 大沢結衣 松崎ささら Alto 志村美土里 小林音葉

Tenor 尾崎修 平野太一郎 Bass 佐々木武彦 牧山亮 ピアノ:魚谷絵奈

ヘンデル:ハレルヤコーラス

バッハ:主よ、人の望みの喜びよ ジャズカク:鳥の歌

チマッティ神父様:アヴェ・マリア

モーツァルト:レジーナ・チェリ

日本古謡、武満徹 編曲:さくら

谷川俊太郎 作詩、武満徹 作曲、林光 編曲:死んだ男の残したものは

江間章子 作詩、団伊玖磨 作曲:花の街

吉丸一昌 作詩、中田章 作曲、林光 編曲:早春賦

宮崎駿 作詩、久石譲 作曲、若林千春 編曲:となりのトトロ

覚和歌子作詩、木村弓作曲、若林千春編曲:いつでも何度でも

宮崎駿 作詩、久石譲 作曲、富澤裕 編曲:君をのせて

杉本竜一 作詩作曲、橋本祥路 編曲:ピリブ

小嶋登 作詩、坂本浩美 作曲、松井隆夫 編曲:旅立ちの日に

堀内敬三 訳詞、ヨハン・シュトラウス 作曲:美しく青きドナウ

チケットのご購入: お電話またはホームページよりご予約の上、「一般社団法人 国際育英文化協会」口座へ代金を先にお振込みください。ご入金確認後、チケットをお送りいたします。又、事務所で現金購入も承ります。

ゆうちょ銀行 ①ゆうちょ銀行からのお振込み:記号 10150 番号 70038231

②他の金融機関からのお振込み:店番 018 普通預金 7003823

みずほ銀行 赤羽支店 普通預金 2093151

※クレジットカード決済をご希望の方は Pass Market よりご購入いただけます。

詳しくは同封のチラシをご覧ください。

お知らせ

2010年9月23日にスタートいたしました「モーツァルト・サロン コンサートシリーズ」は2025年2月23日のコンサートを以て、終了することになりました。

長い間、モーツァルト・サロン コンサートをご支援頂きました皆様には心より感謝いたします。東京混声合唱団のメンバーがフィナーレを華やかに彩ります。是非ご来場くださいませ。

第3回モーツァルト・サロン ピアノ弾き合い会

2025年3月27日(木) 14:00 参加費:2,000円

ソナチネレベル以上 8分以内 プロ、アマ問わず(プロの方は参加費無料)

来年からの「モーツァルト・サロンピアノ弾き合い会」は月に1回開催することとなりました。

スタインウェイで演奏を楽しんでいただいた後には、ティータイムを設けます。

詳細はホームページをご覧くださいませ。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

モーツァルト・サロン ピアノ教室

指定の月・火曜日



青木沙耶花先生

スタインウェイB(生徒さんが使用)、ヤマハC5でレッスンをするワンランク上の個人レッスン。

コンチェルトや2台ピアノの曲も可能です。

音大卒の方の学び直し、ピアノの先生のスキルアップにも最適です。

・月額制:10,000円~(30分~/年40回)

・1レッスン制:60分(6,000円)、90分(9,000円)



魚谷絵奈先生

お問い合わせ:一般社団法人 国際育英文化協会

〒115-005 東京都北区赤羽1-54-5メトロAIビル5F

TEL:03-5939-9535(営業時間:平日9:00~17:00)

HP:<http://www.kokusai-ikuei.jp/>(右のQRコードを読み取ってください)

モーツァルト・サロン赤羽で検索して下さい。

※この会報がご不要の方は、お電話またはホームページ「お問い合わせ」よりご連絡下さい。

